

柶榴

ーざくろー



えろしー

DOJIN
Adult only

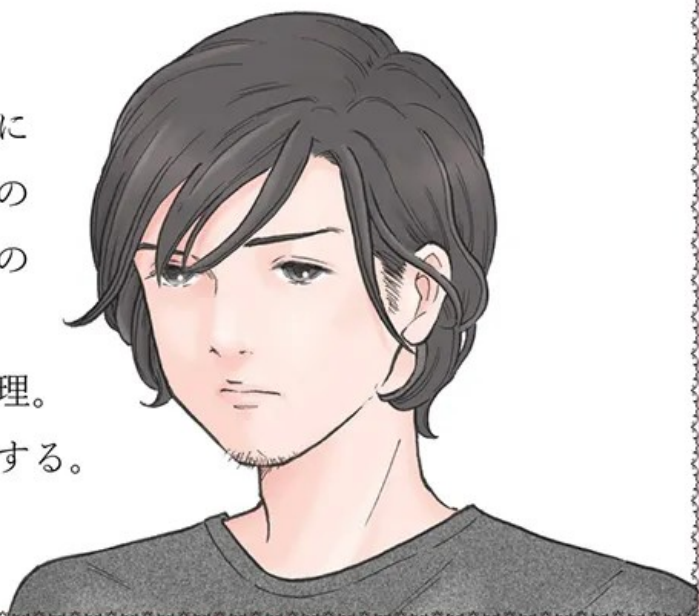
R18

登場人物

まみやいっぺい

間宮一平（25 歳）

結婚を考えていた恋人と 2 年前に別れてから自暴自棄になり職場の工場とアパートを往復するだけの無味乾燥な日々を送っている。趣味はストレス発散を兼ねた料理。ユキと出会った事で全てが一変する。性癖までも。



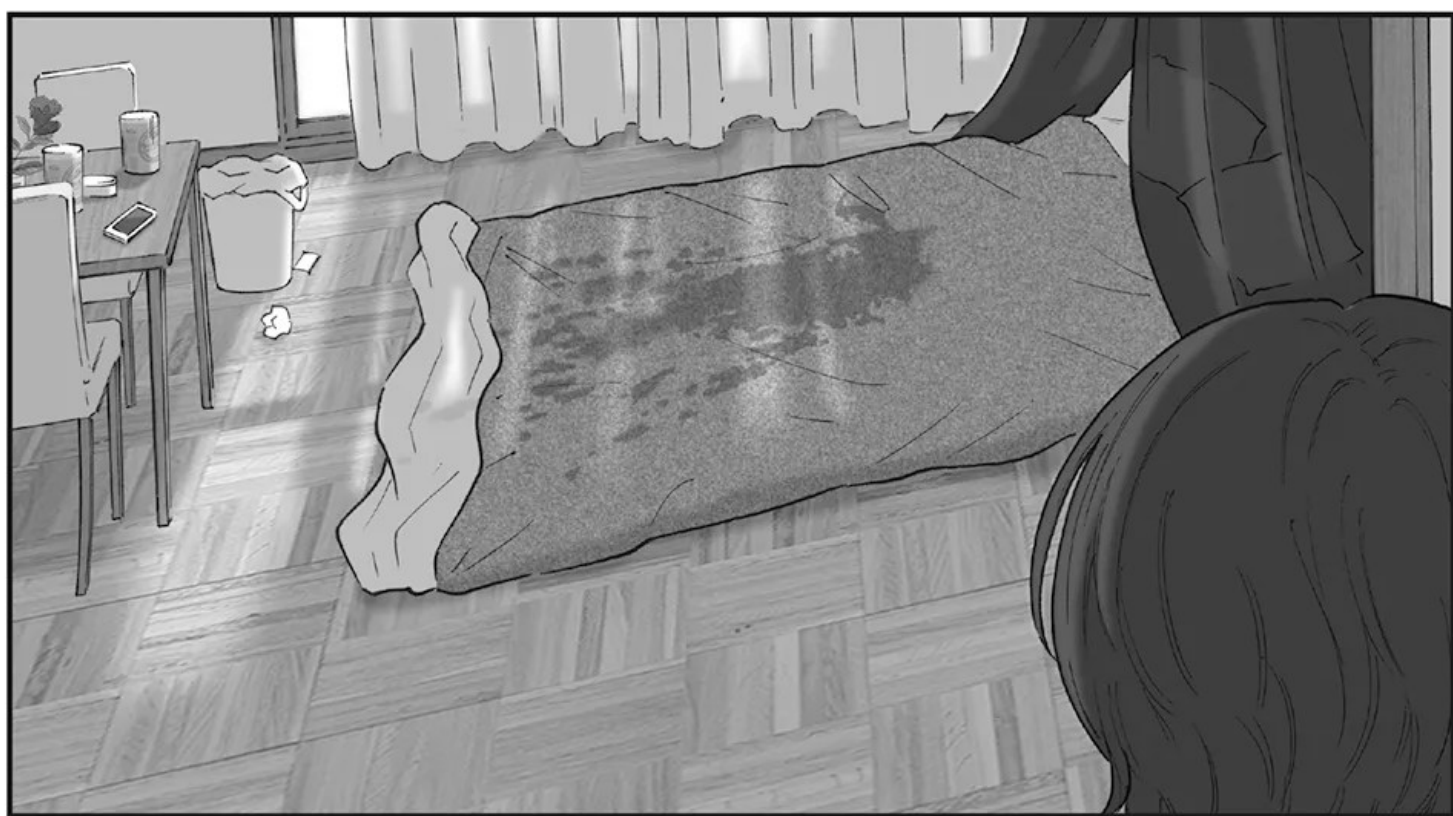
ユキ（年齢不詳）

ある日突然一平のもとに転がり込んできた謎の女。その美貌と天真爛漫な性格と性的魅力からユキと関係を持った男は彼女を手元に置こうとするがある理由から長続きしない。

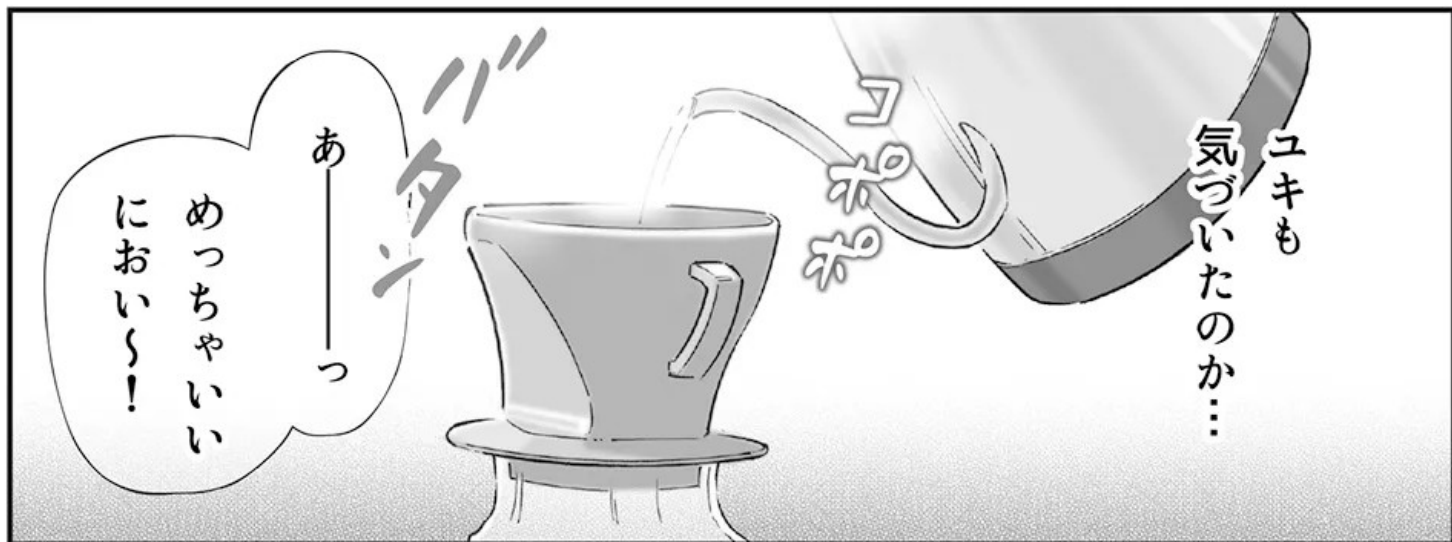
身寄りも無く男から男へと果て無く渡り歩いている。



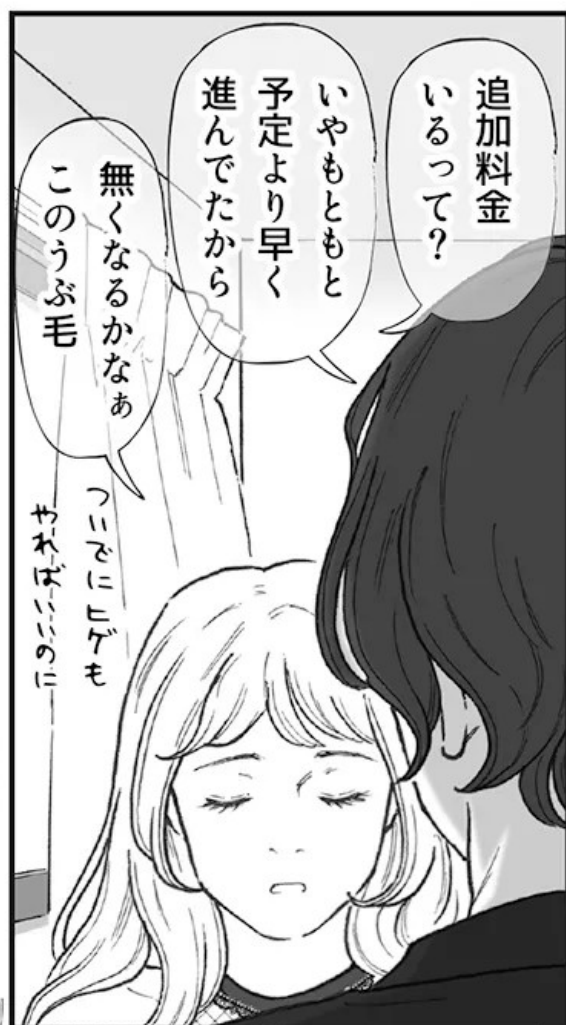


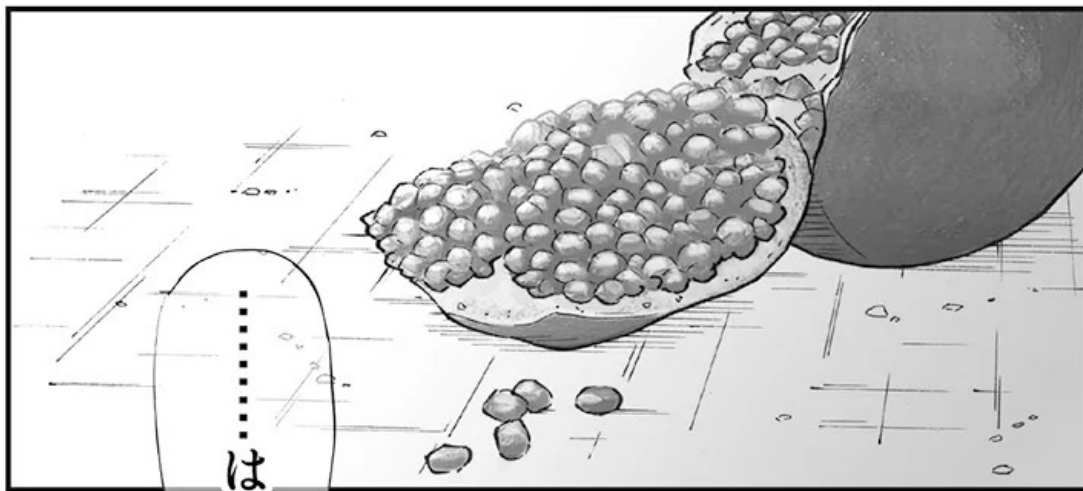












……は？



この木の実が
食えるかって？

食えるワケ

ねーだろ そんな気持ち

ワルいもん

一平で

あたしを――



えー

そうなのかな

おばあちゃん家に
植わってた木の
実によく似てる
んだけど……



……なんだ
この女――？

見た目は
モデルばりの
顔とスタイル
してるけど

いきなり
そこら辺に
生えてる木に
なってる実が
食えるかなんて
フツーじゃねえ
よな……

……

じゃあ――

何かあったら
救急車呼んで

わ――
待てって！！
っ

腹へってんなら
なんか食わして
やるから！！



やっぱり腹が
へってただけ
だったのかよ

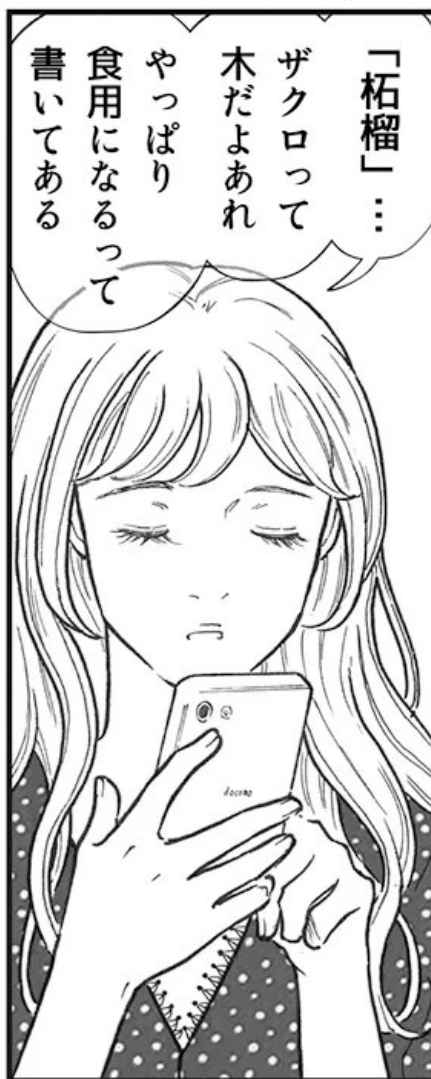
…なーんだ



おぼえてる
もん……
昔おばあちゃん家で
おばあちゃんと
食べたこと……
甘いんだと思って
口いっぱい
はおばったら

すっぱくて
ビックリした
こと——

……ちよつと
待て……



「柘榴」……
ザクロって
木だよあれ
やっぱり
食用になるって
書いてある



だからって
あんなムチャ

て

おいそれ俺の
ケータイ!

だって

ほらみて

こいつ……
どう見ても
スッピンだよ
な……

……ヤバイ
ぐらい綺麗
なんじゃ
——？

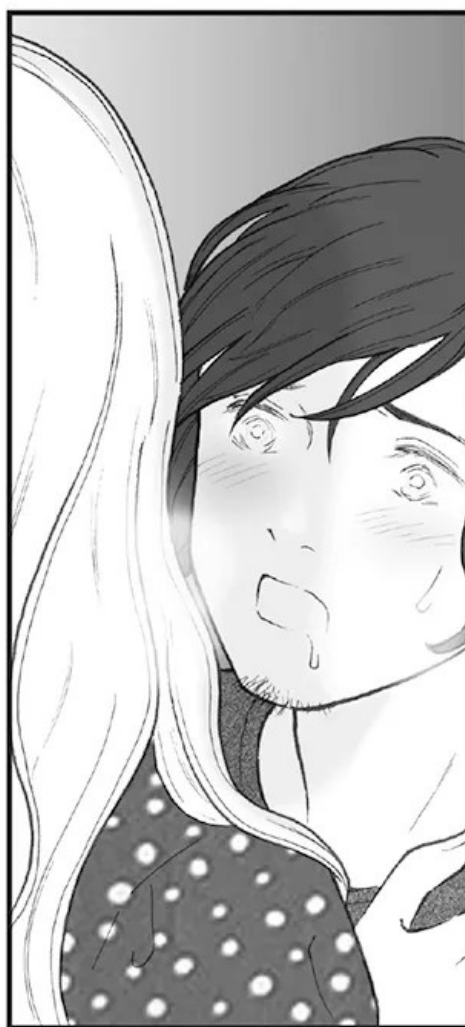
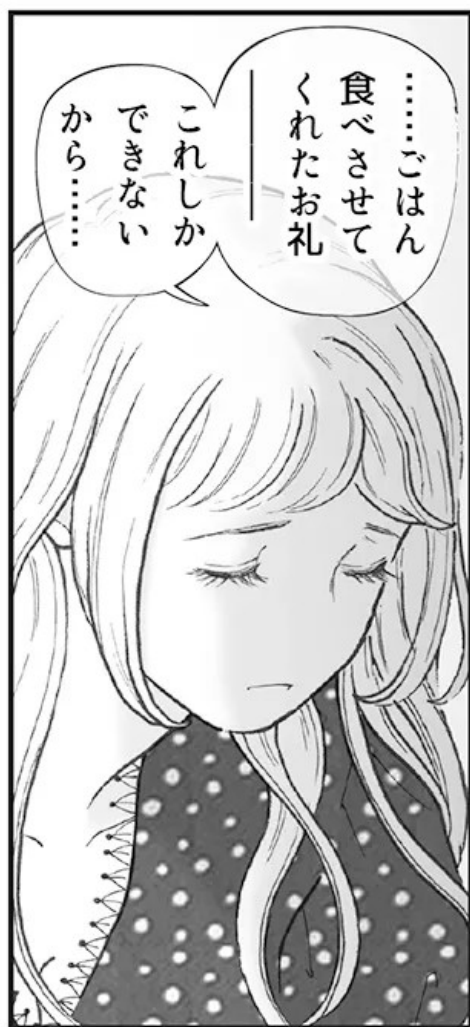
えっ……
おい——

大丈夫か……!?

……うん

おいしいよ
……

あんたも
ためしてみる
——？









ダメだ

は

は

生でしちまって

るのに

あ

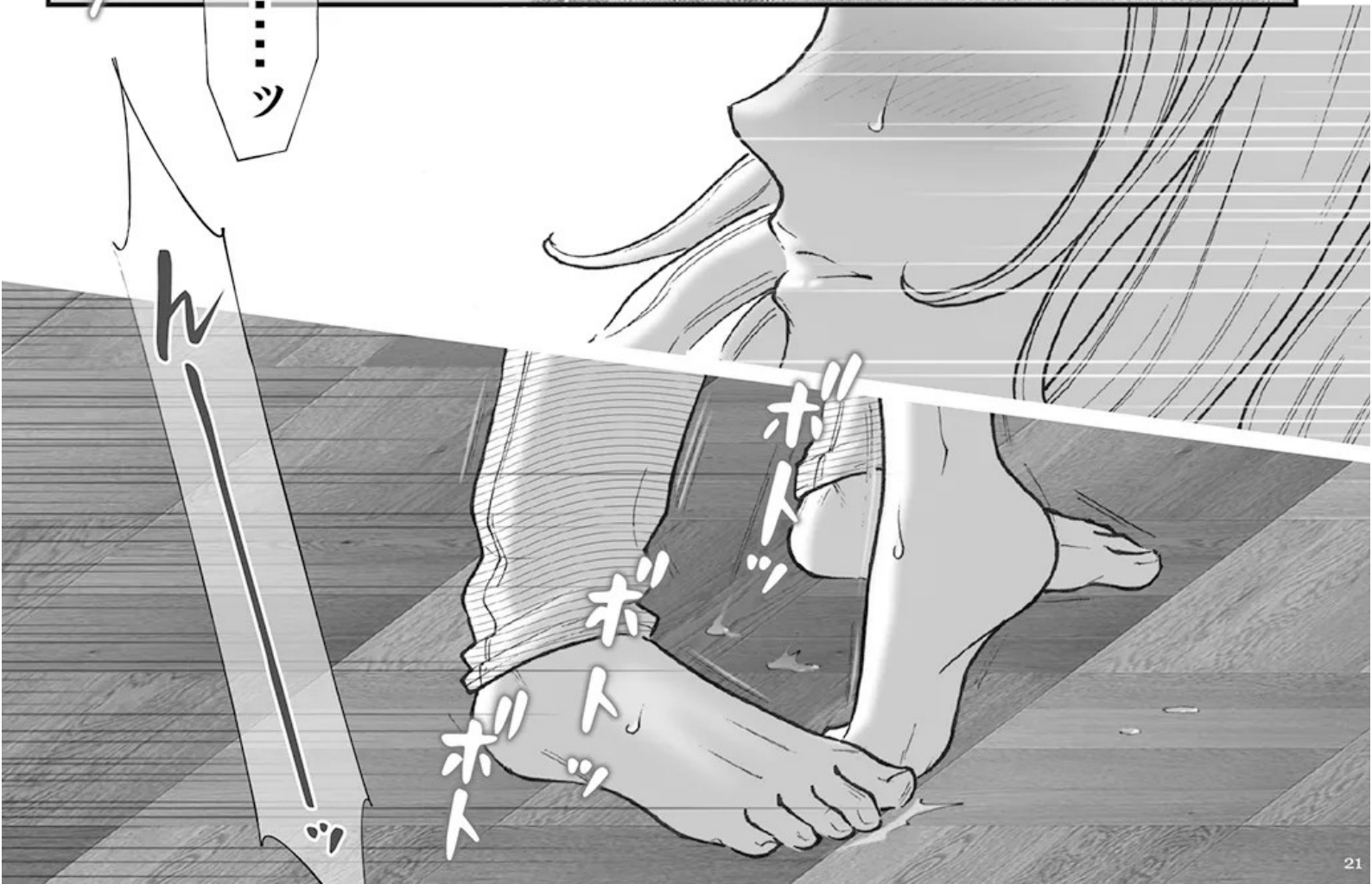


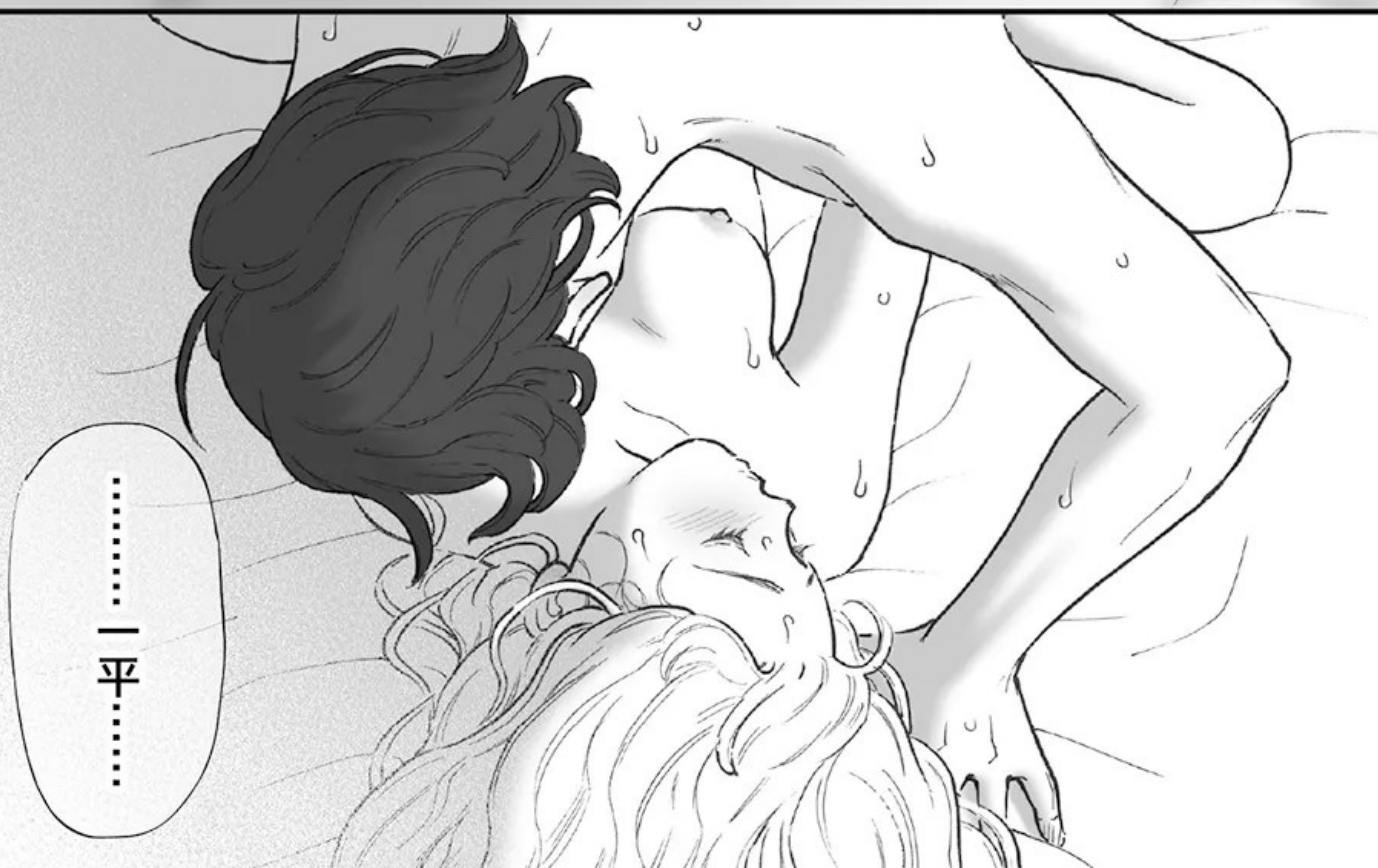
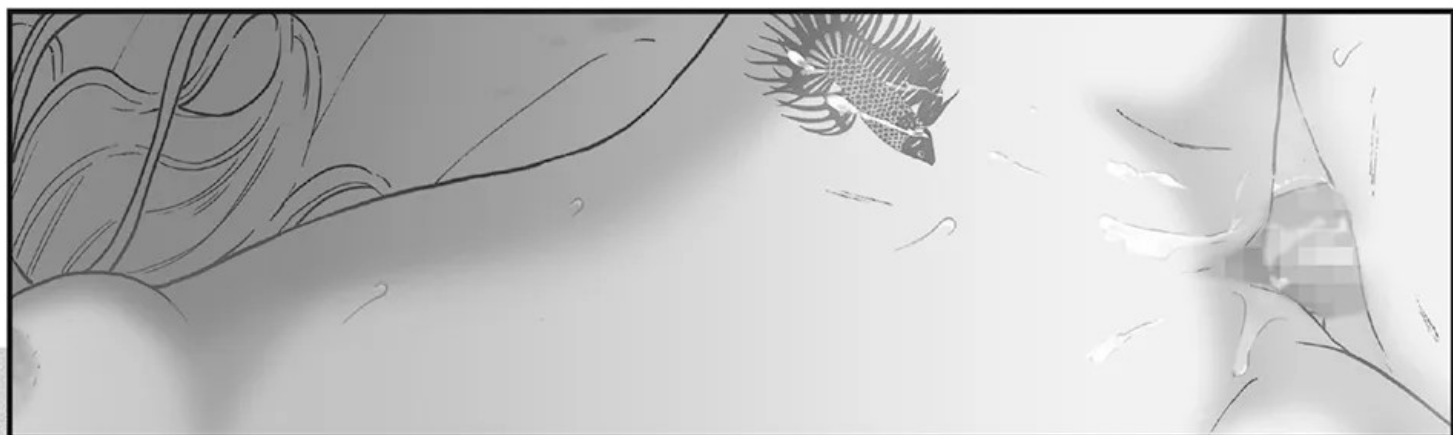
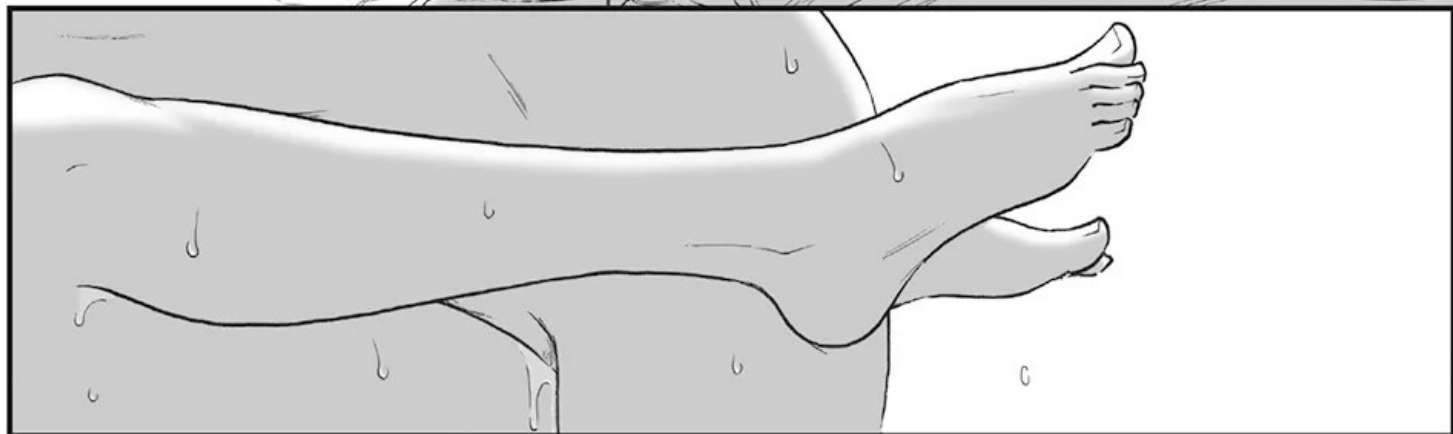
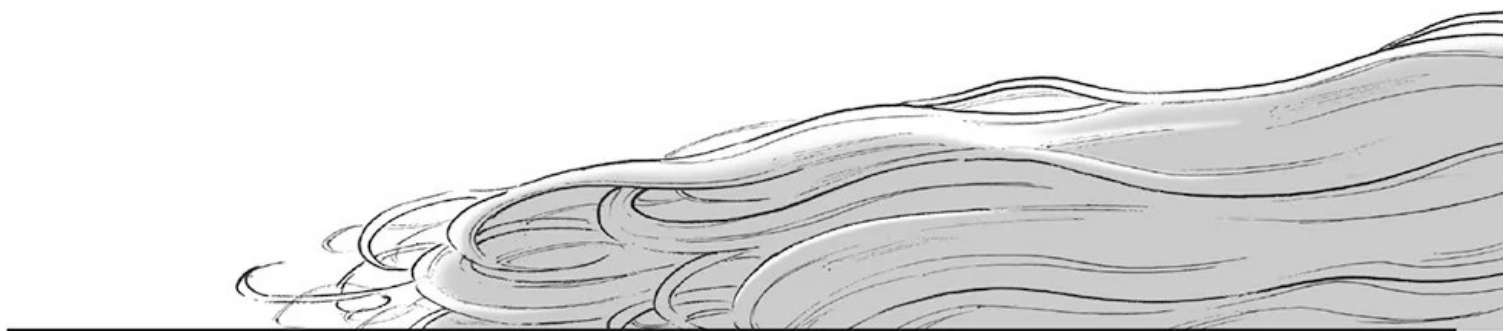
信じられねえ

……！

こんな早く

出る……ッ





.....一平.....

ユキ……



ここで俺と
暮らそう

…行くところが
無いんなら

ギ
ユ

なんの色彩も
無かった
俺の生活に

いいよ…

うん…
あたしも働く

一緒に

足りない物は
そろえよう

贅沢はでき
ないけど

俺の稼ぎじゃさ

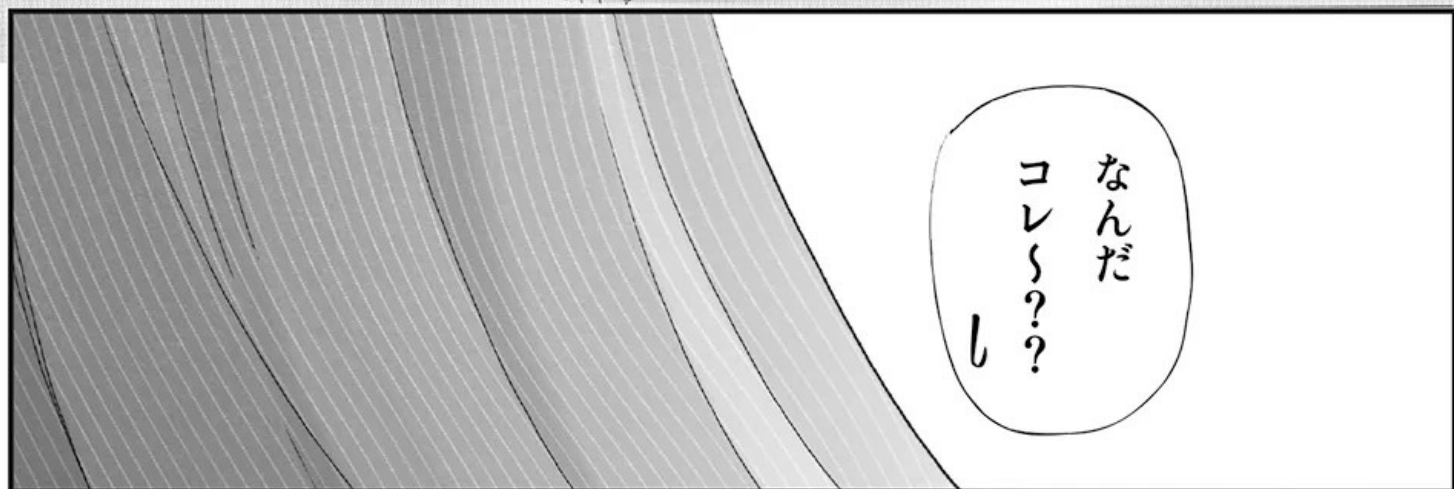
うれしい…

うん…一平

この日突然
大輪の花が
咲いた



なんだ
コレ???



あたし
この部屋を
一平とあたしの
お城にするって
決めたんだから



いるかあ?
こんな
第一部屋に
合わねえだろ

こっけい
こんな

いーの!



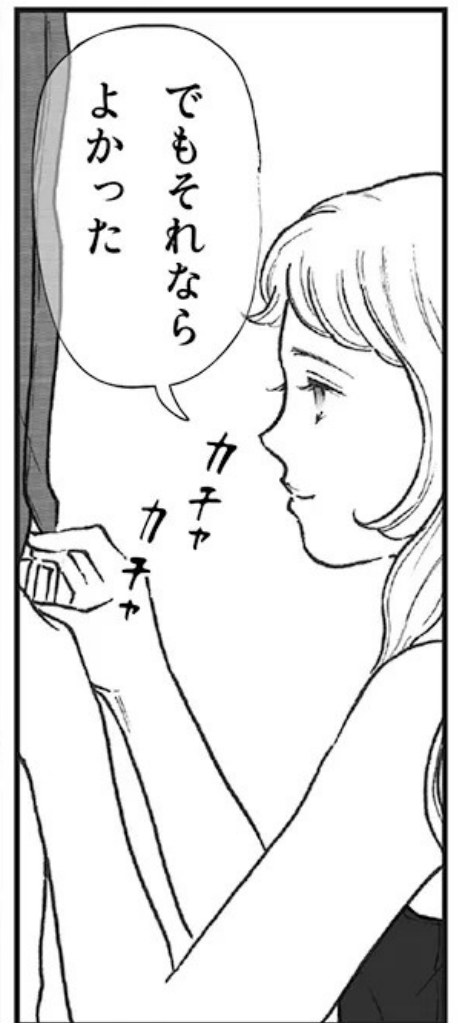
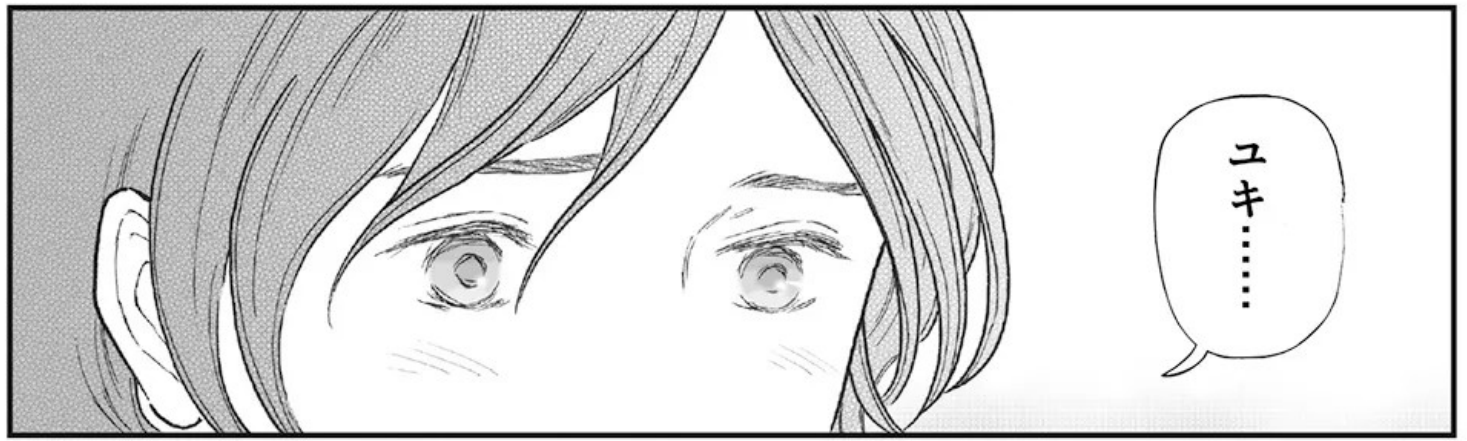
「なんだ」って
知らないの? 一平
天蓋だよ
て・ん・が・い!

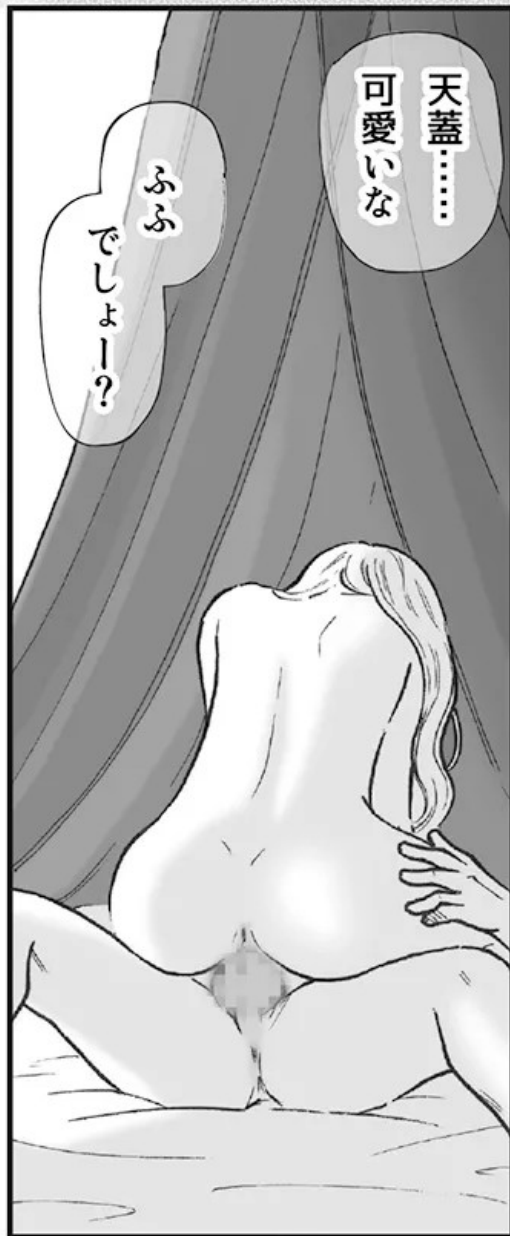
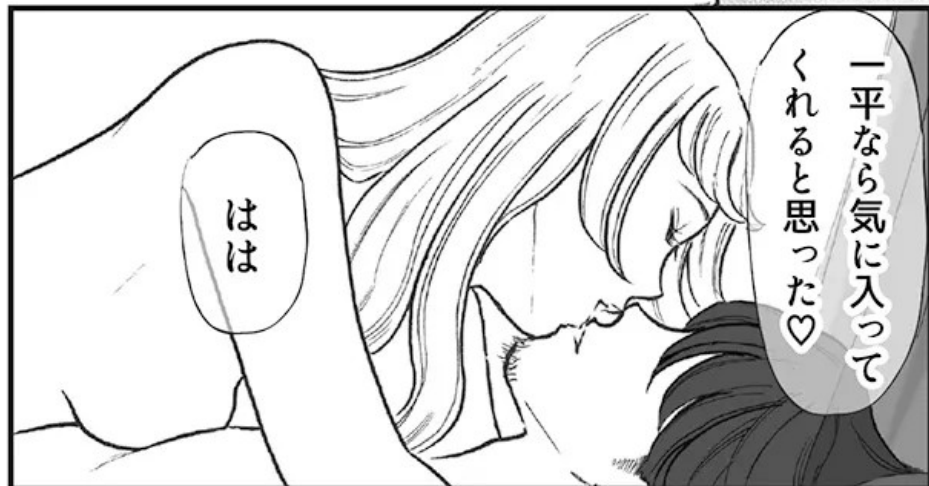
あかざり♡

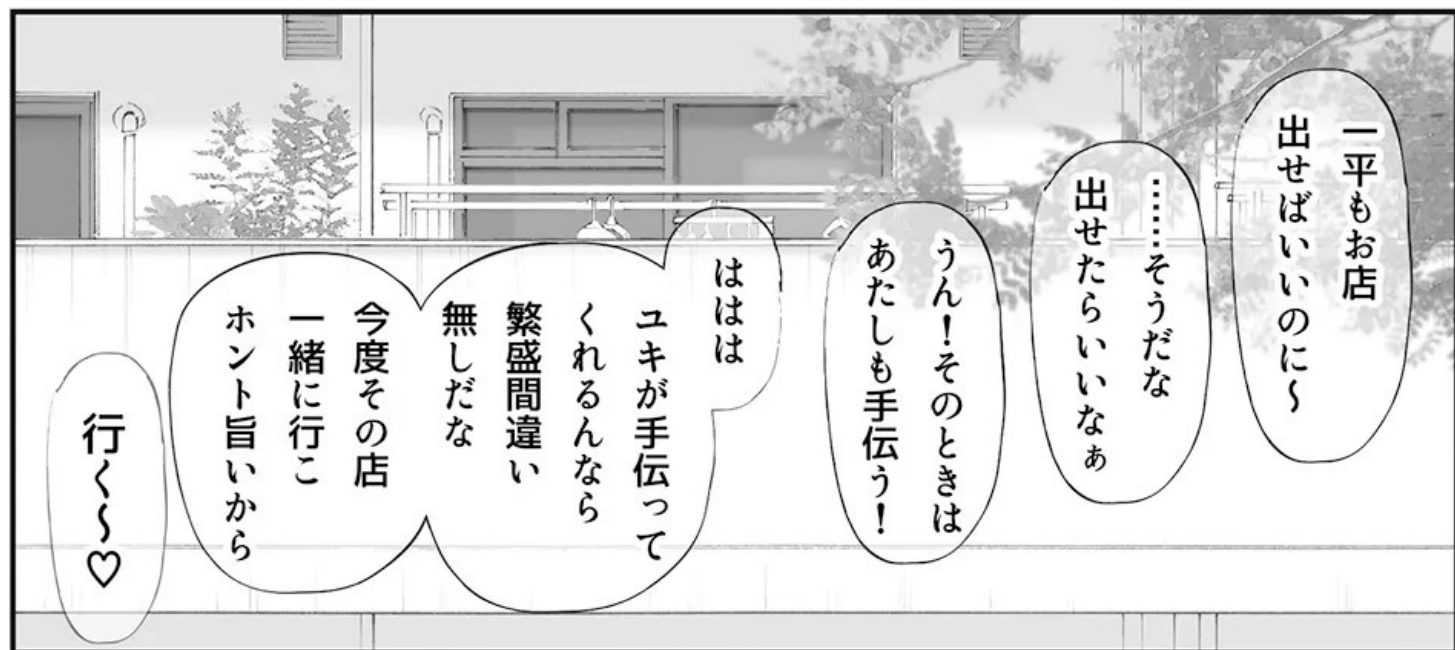
イヤ知っては
いるけど……

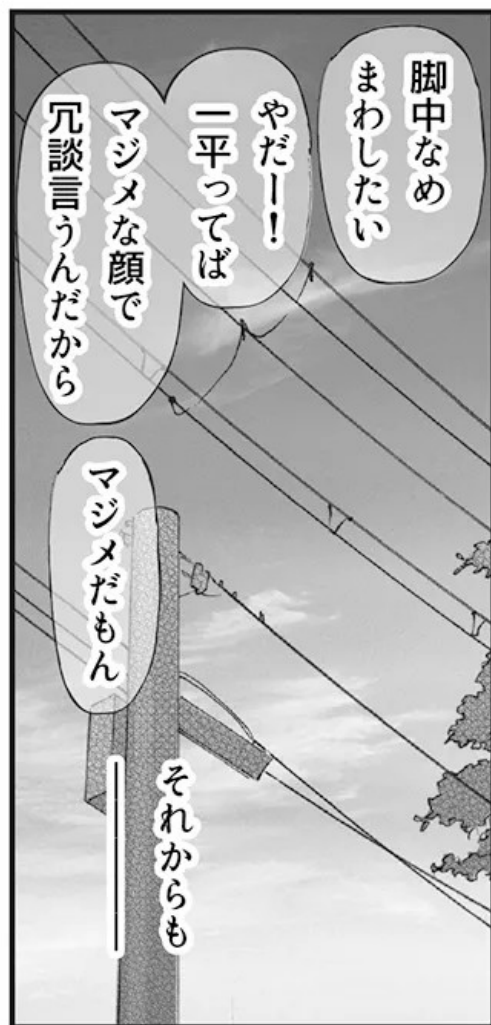
ただいま……

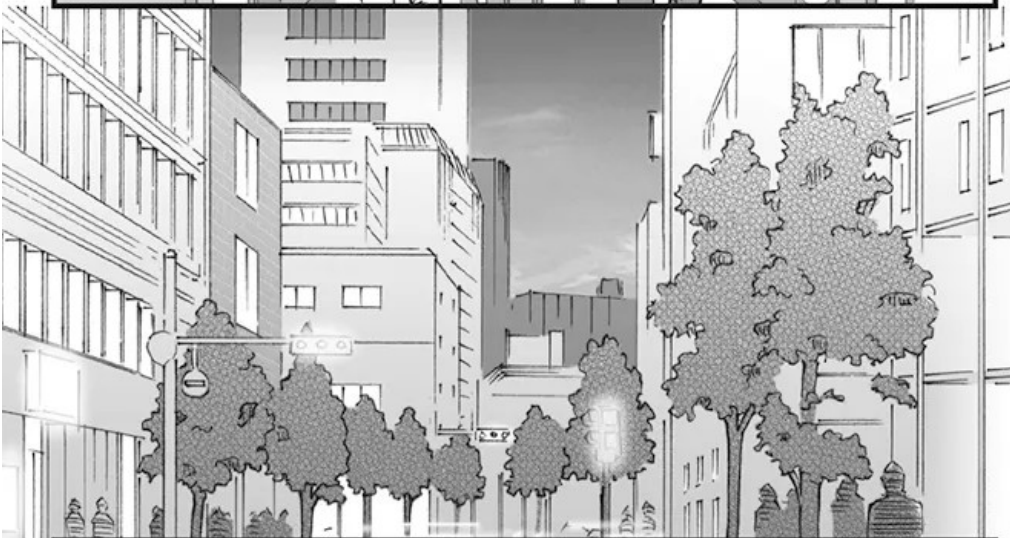




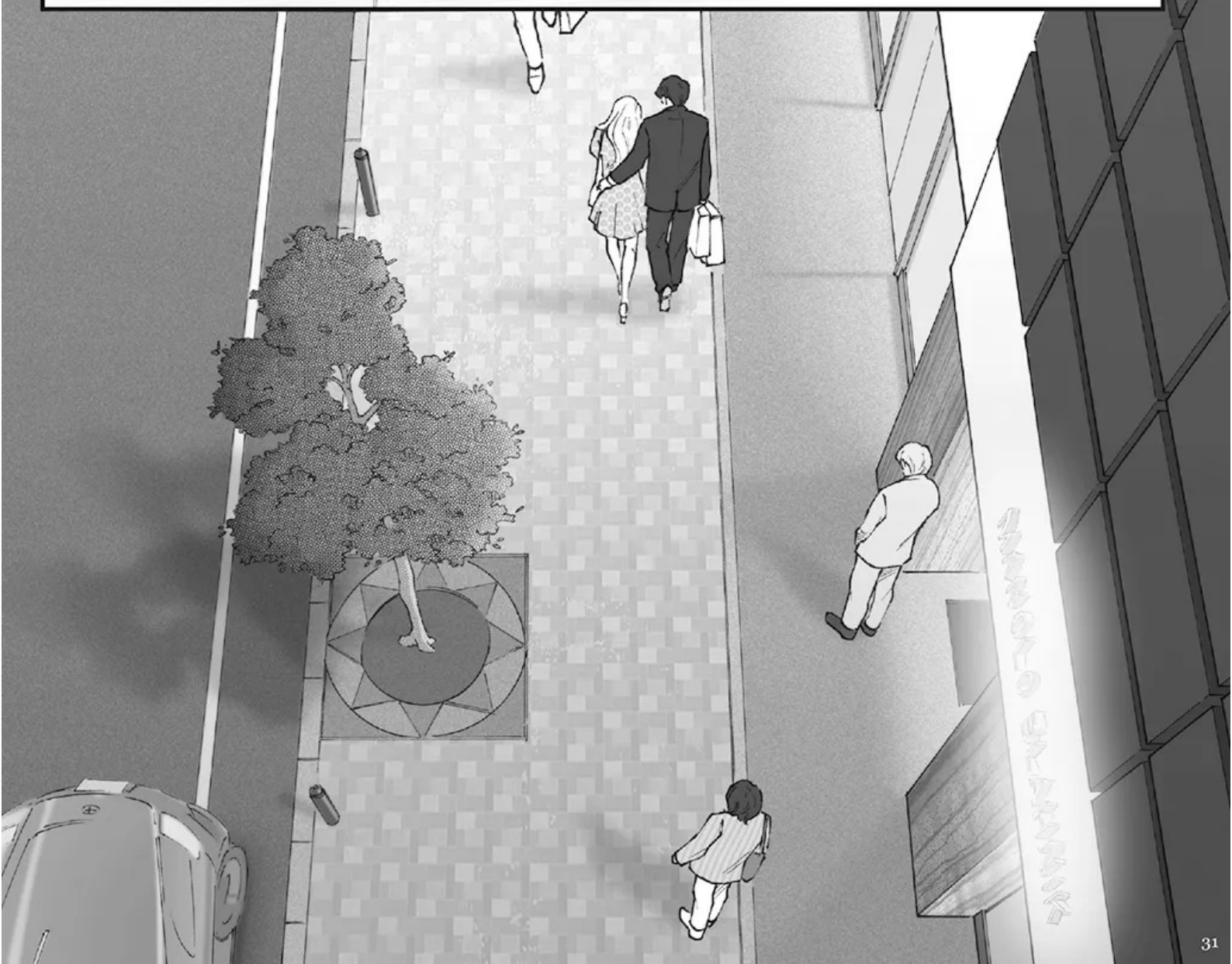
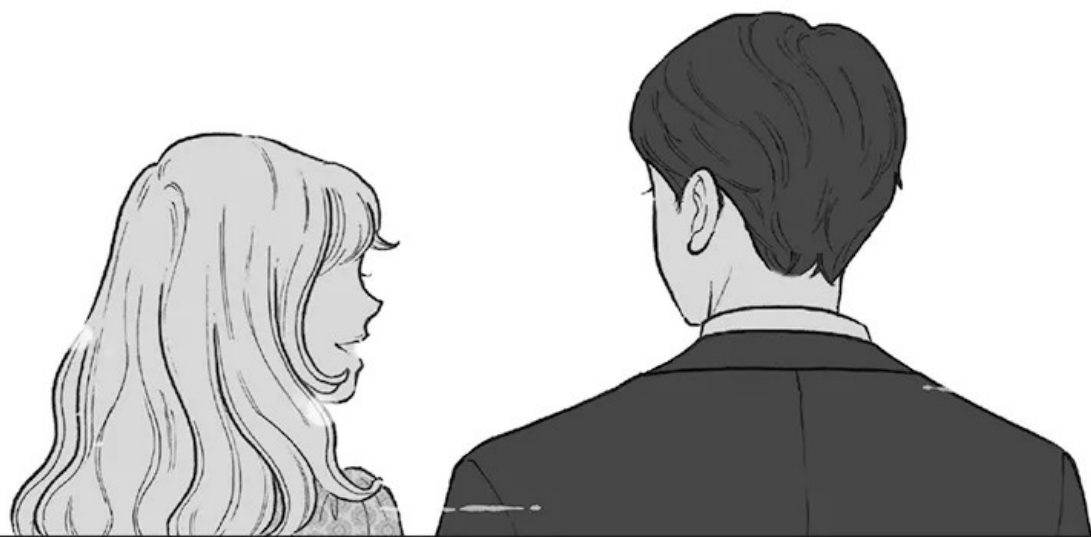


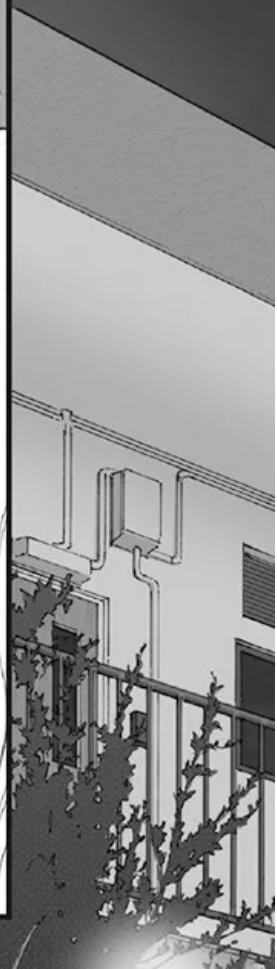
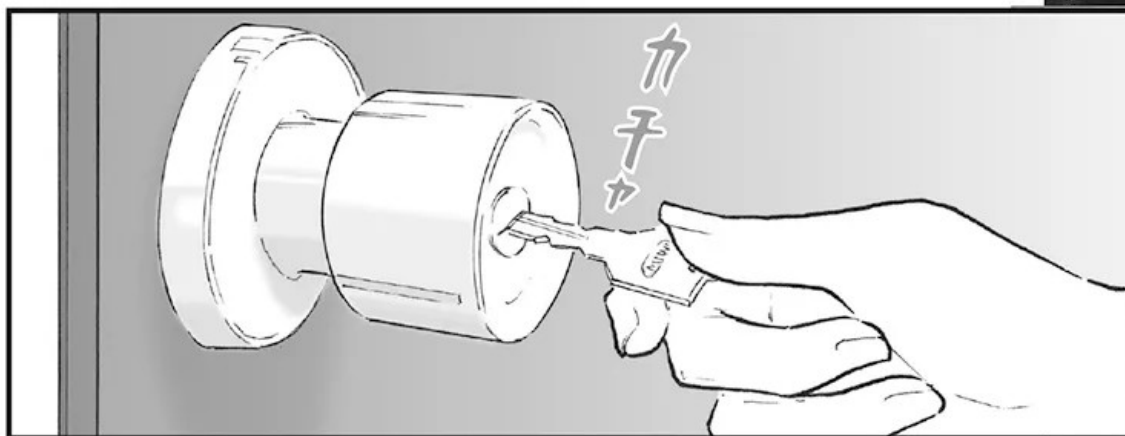


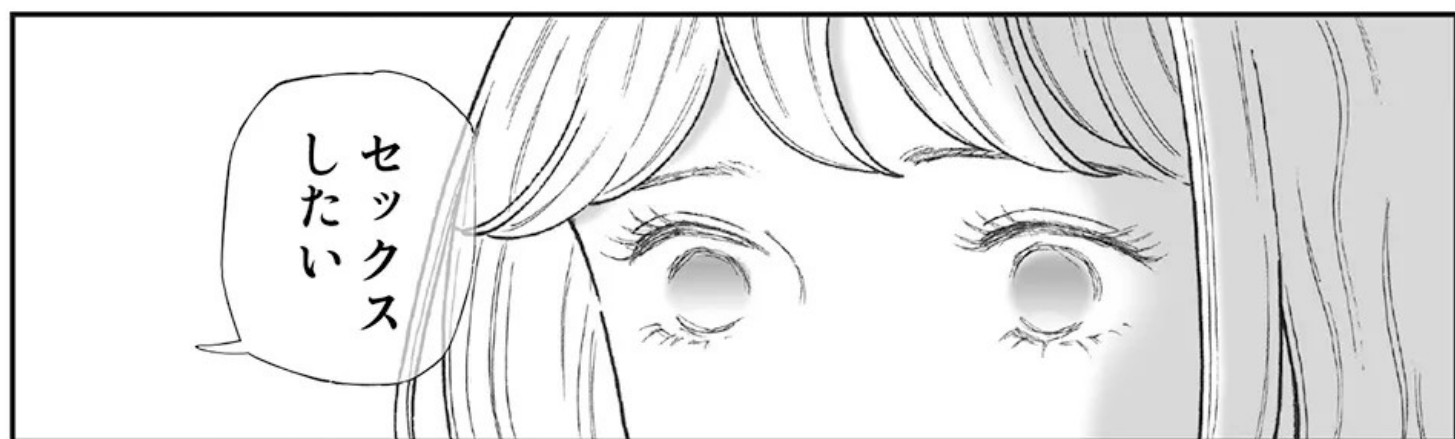


















ユキ……

そして
あたしは

セックスが
すき——



恋人や奥さんが
いる人も

大きい会社の
偉い人も

学校の先生も

……一平も

みんなあたしの体や
してあげること
で気持ちよく
なってくれる

みんなあたしが
気持ちよくなる
ように色んな
ことをしてくれる

体だけの
つながりでも
あたしのことを
求めてくれる

そんな時間が
大好きなの

みんなあたしの
前では裸で



……そんな……
綺麗事言っちゃって
結局金がらみじゃ
ねえか……

……
……そうだね



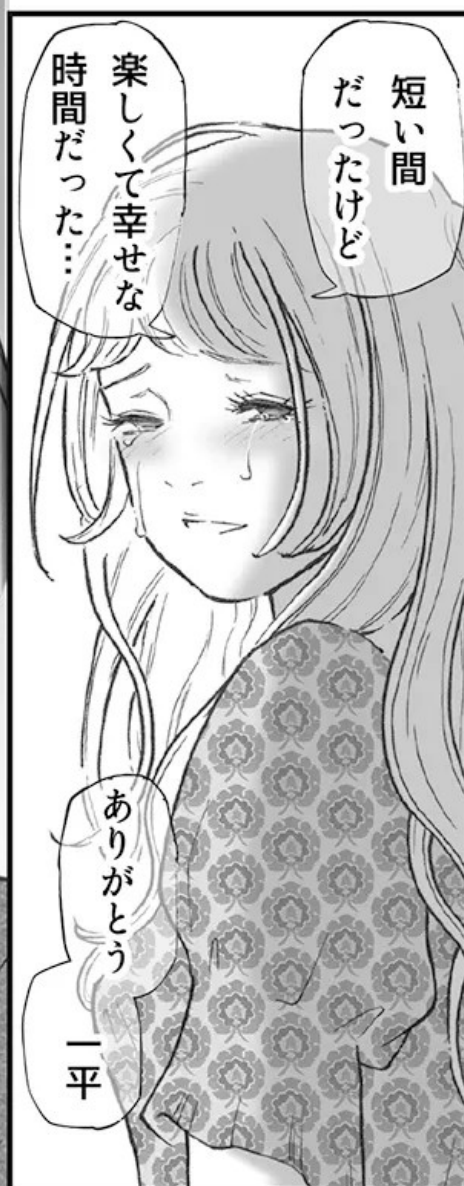
贅沢のために
体売る女を
恋人にしてくれる
男なんているわけ
無いのはわかってる

すきだった人にも
着の身着のまま
追い出されて
途方に暮れてた
ときに一平に
出会ったの……



…あの日
一平が食べさせて
くれたトーストと
コーヒー……

涙が出るぐらい
おいしかった……
食べものを
あんなおいしく
感じたの
生まれて
初めてだったよ
……………

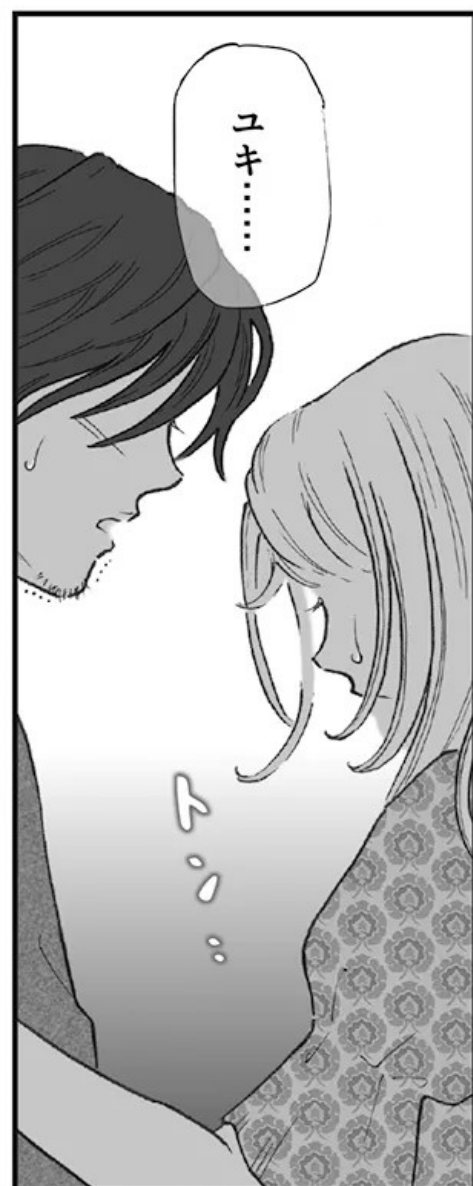


短い間
だったけど

楽しくて幸せな
時間だった……

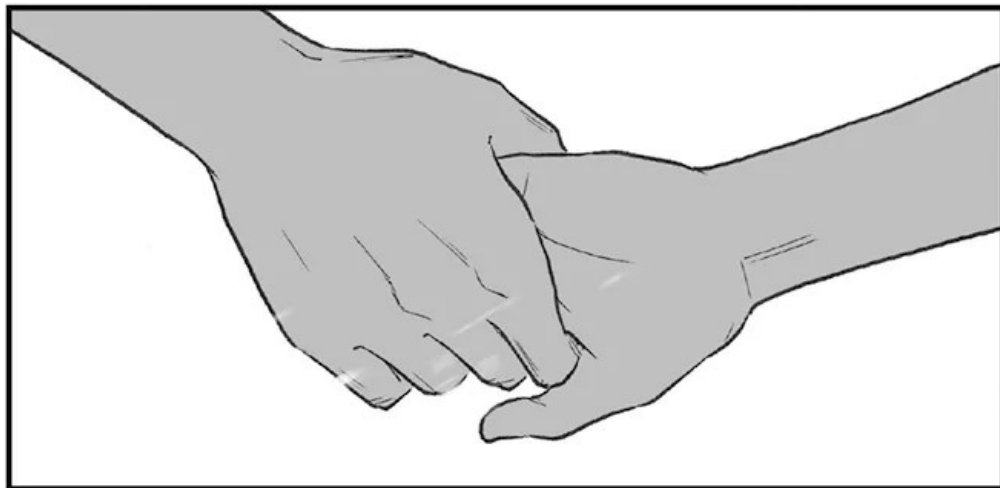
ありがとう

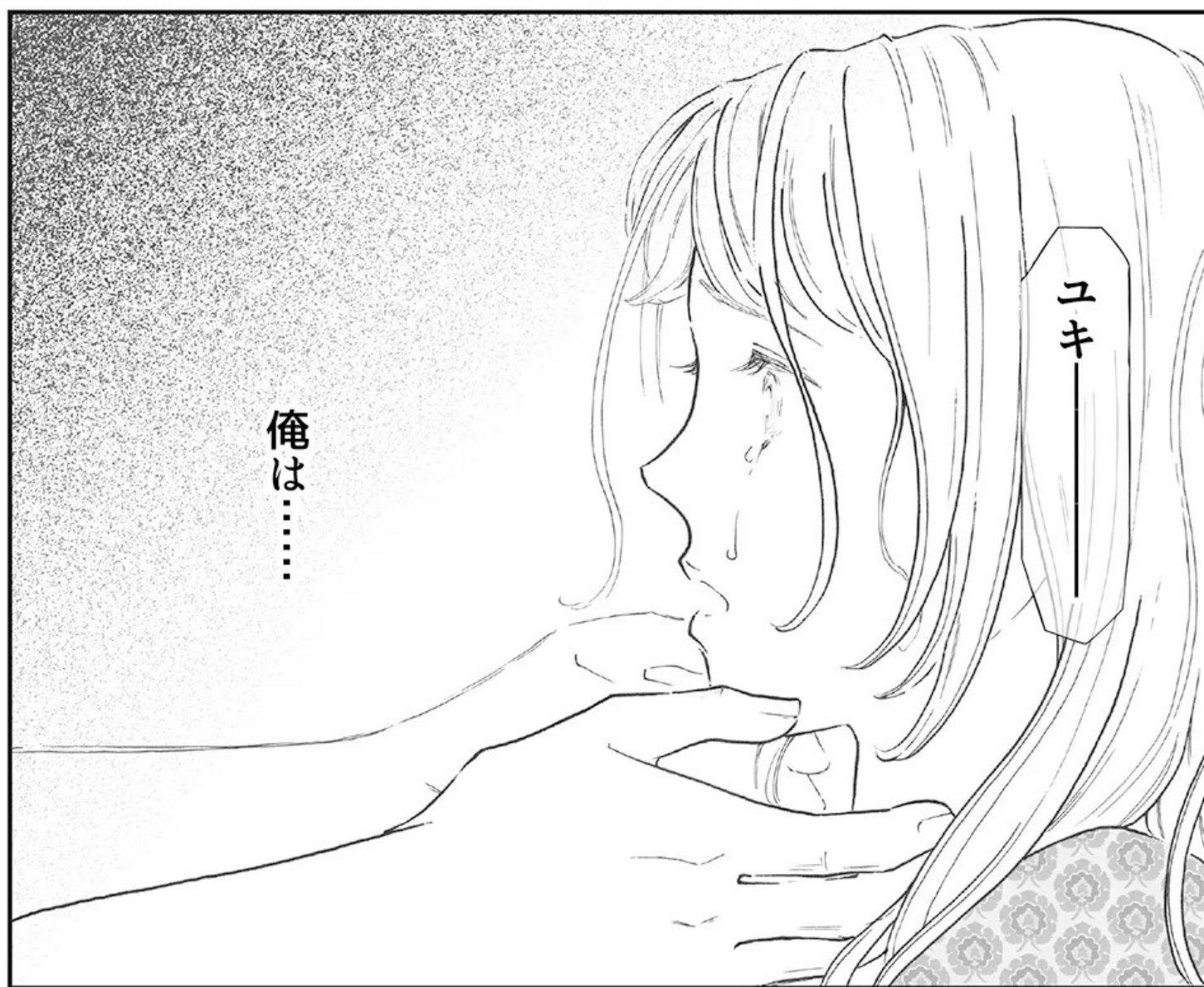
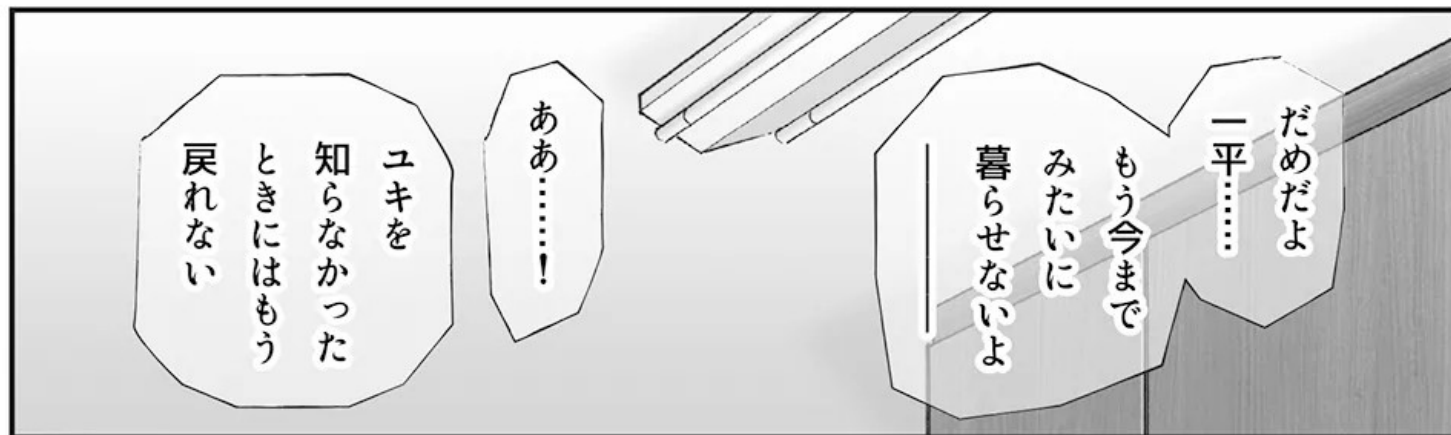
一平



ユキ……

トン……





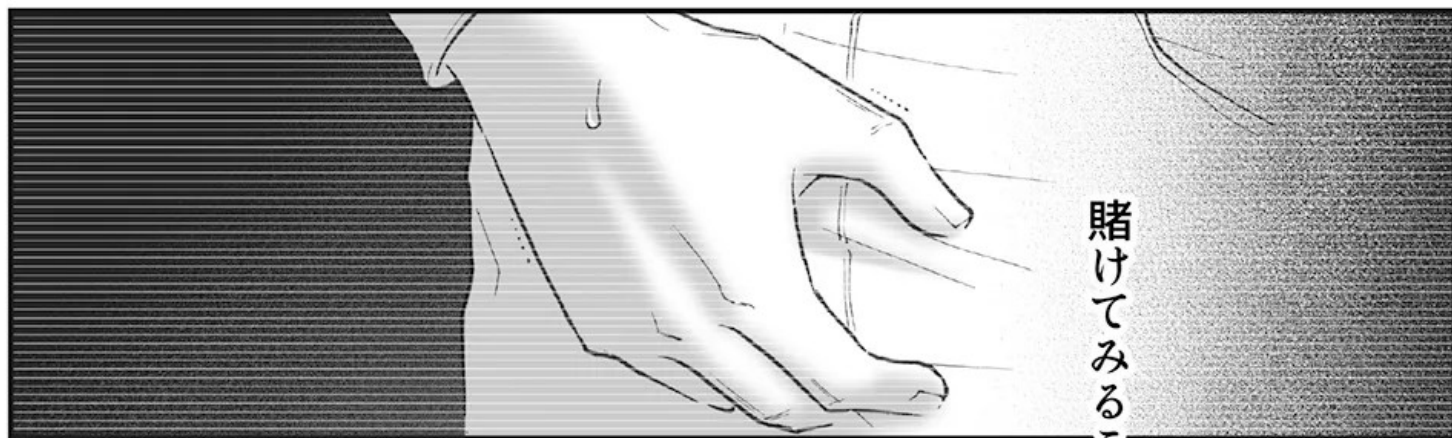
あのときの



説明の
つかない
感情に



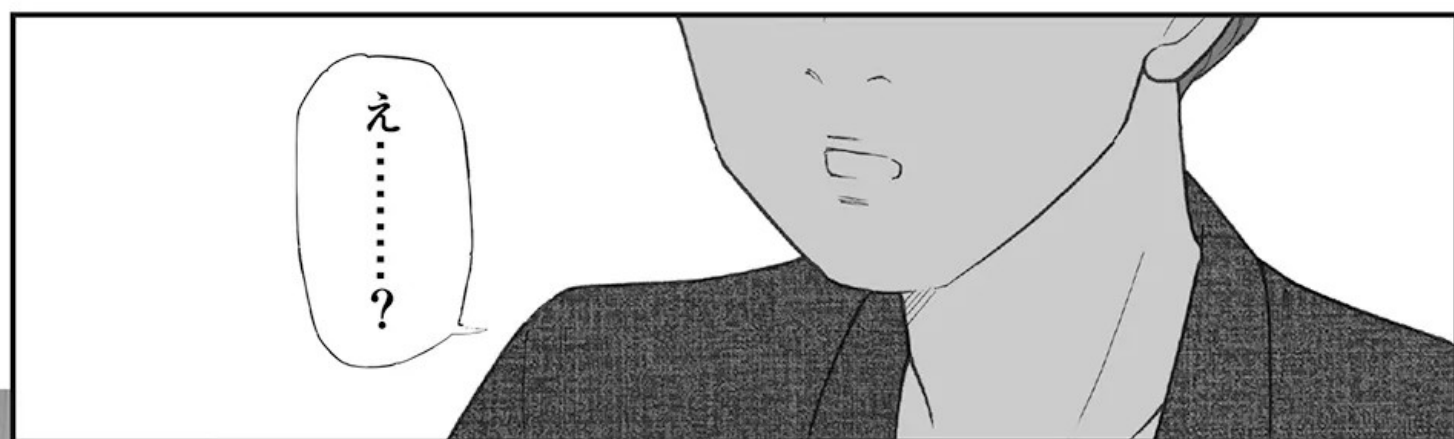
賭けてみることにした



試したいことが
あるんだ……











見たいんですよ

自分の女が

他の男と

やってるところ

最近どうやら

ヘンな性癖に

目覚めちゃった

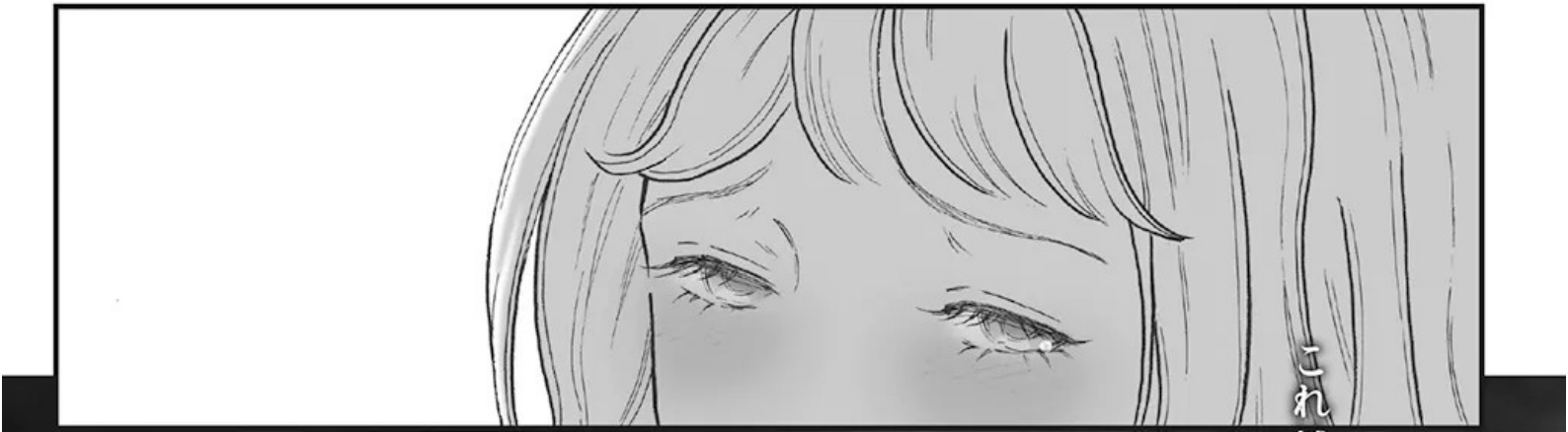
みたいで



もちろんあなたの

許可がいただければ

ですがね――



これは罰だ……

あなたが

いちばん大切だと

甘い言葉を

吐きながら

金のために

欲望のために

他の男の前でも

股をひらく

お前がやってることは

そういう汚いこと

なんだ――



全てを
受け止められる
のか試してみろ

そして俺も

あのときの興奮が
何だったのか自分に
聞いてみたい



全ての
目の当たりで

……はは

俺だって

こう見えて
ハプターの
経験ぐらい
あるんだぜ
………？



すっげえいい声で
鳴くんだからさ

ハハハハ



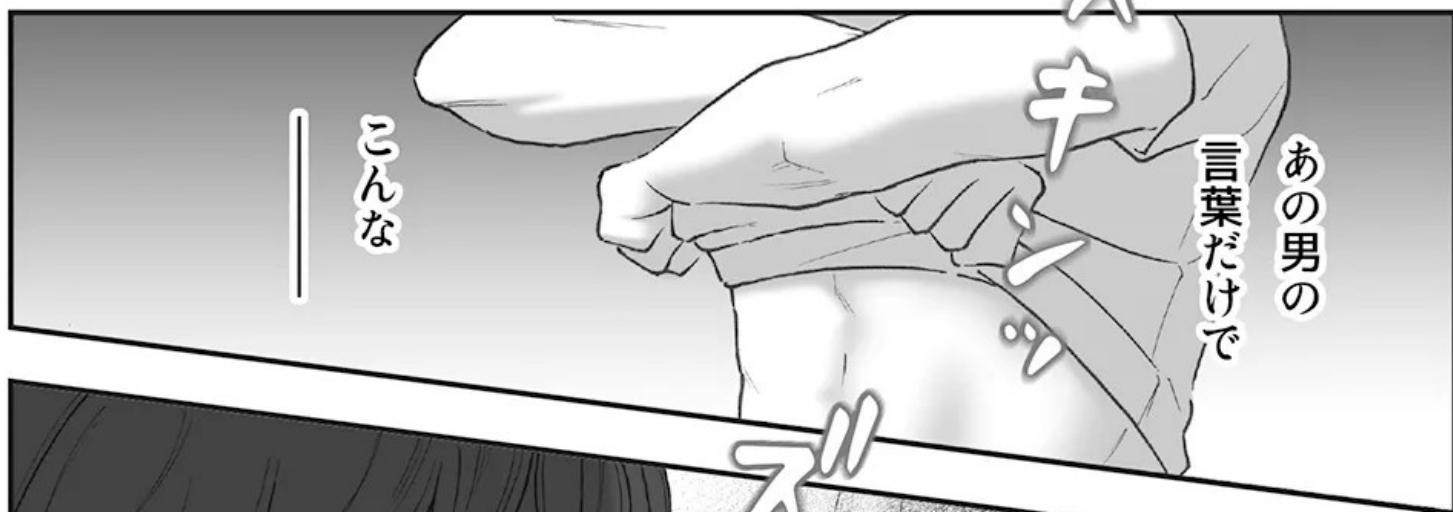
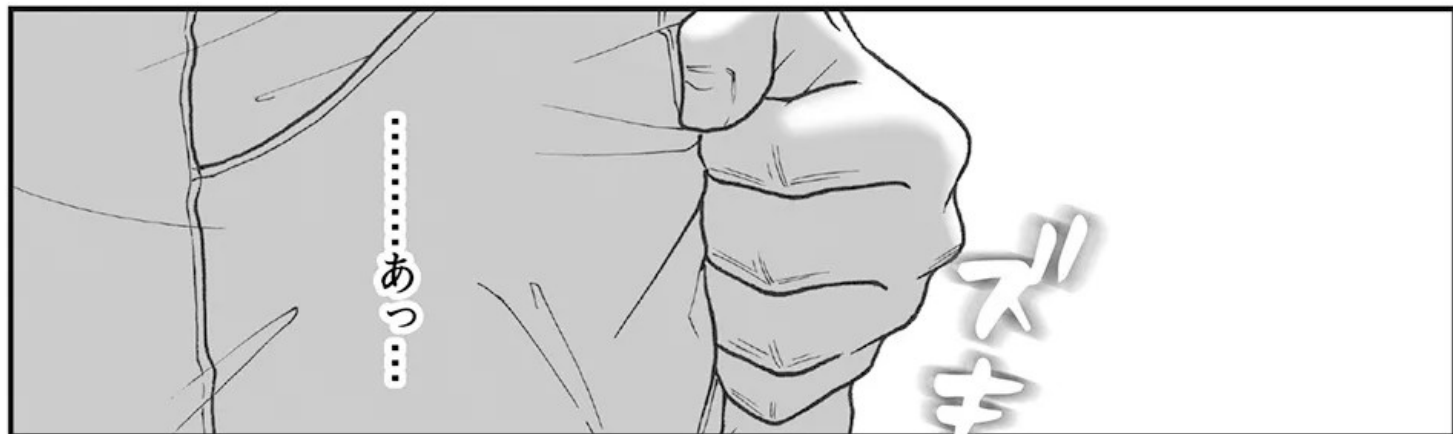
望むところだよ

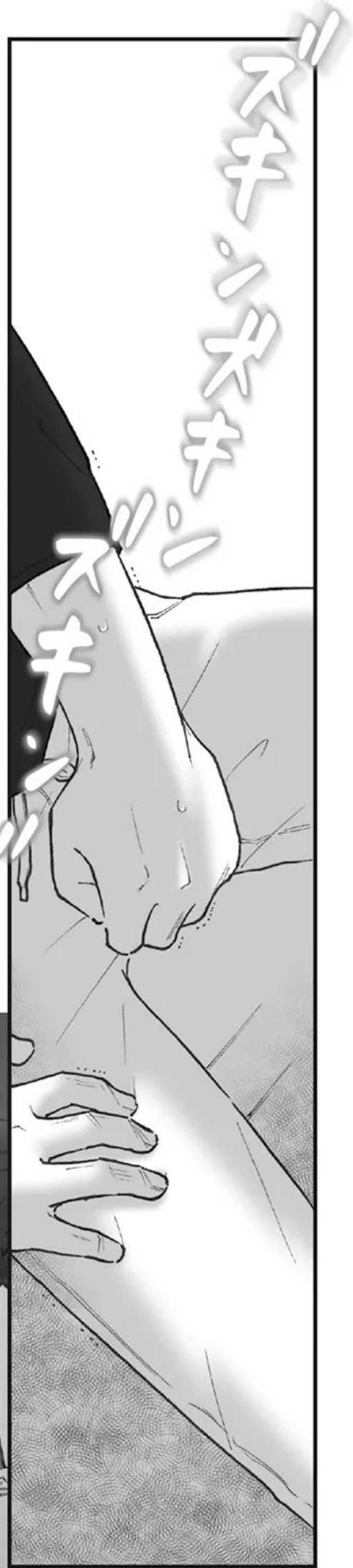
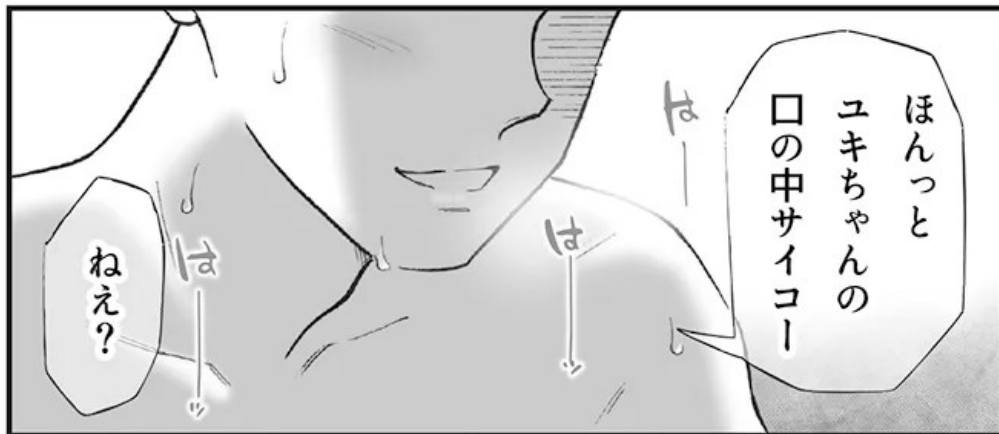
……なあ？

ユキちゃん

いくときのいつもの声
彼氏に聞かせてやれよ







お前を
愛するって
いうのは
こういう事か
.....



俺の部屋で

俺の前で

他の男と
体を重ね

一緒に快楽に
没入し

恋人同士みたいに
溶けあう時間を
共有する――

金のために
そんな事が
出来る女を

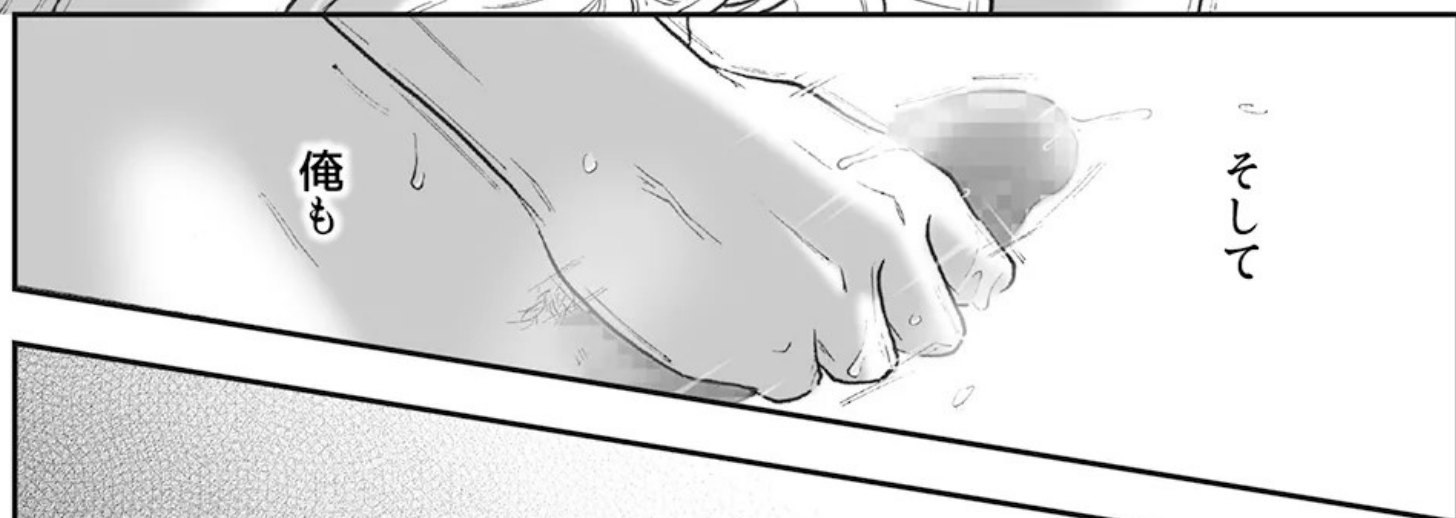
俺は好きに
なっちまった



.....ユキ

欲望と快感に
歪んでる
お前の顔

最高に
綺麗だな



そして

俺も

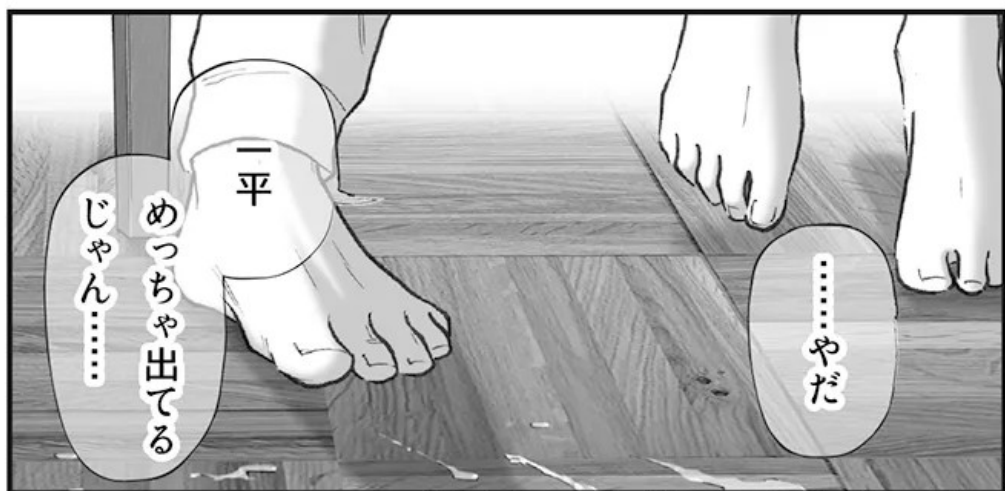


こんな光景を前に

今までに無いほど
興奮していきり勃った
ちんぽをしごいてる

正真正銘のクズだ

！



じゃあこれ
ありがと

今日最高に
気持ちよかった

……ほんと？
よかった

次からも
この部屋？

……わかんない
また連絡
するね…









それから夜通し

セックスに
耽りながら
俺とユキは
色んな話をした

俺は自分の
醜い部分を
さらけ出して

今の客の数や料金

体の相性がいい
男の名前や

俺は何番目の
男なのかまで

鬱々とした心の内を
全部ユキに
ぶちまけた

隠し事をしない

干渉し過ぎない

要望には応える

じゃあ全身脱毛
してね

お金払うから

ヤダ？

じゃあハイジ
だけやって？

……この約束事には
少々後悔したけど

全てを委ねて

言いなりに
なってもいいと
思える相手が
いるのは

いい人生なのかも
知れない――

なに
笑ってるの

え……





柘榴 ーざくろー

二〇二一年六月六日 第一刷発行

著者 えろしー

発行者 野崎祐一

発行所 書肆マガジンひとり

東京都品川区東五反田二・四・六・四〇三

<https://blog.goo.ne.jp/wag18470>

buglesoundsagain@goo.jp

@publisherMH

印刷・製本 (株)栄光

ISBN978-4-910097-06-0

不許無断複製



9784910097060

ISBN978-4-910097-06-0

C0979 ¥900E

定価: 本体 900 円(税別)



1920979009004



書肆もマガジンひとり